



南条女子

南条小学校だより

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条っ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

令和4年11月11日発行

第36号



○ 読み聞かせ（1・2・6年生・なかひま）

11月10日（木）、図書ボランティア（ブックマザーズ：ブックマ）による1、2、6年生、なかよし・ひまわり学級を対象にした読み聞かせがありました。みんな集中して話を聴いており、とても楽しい時間を過ごすことができました。

ブックマのみなさん、ありがとうございました。次回は、11月17日（木）に、3、4、5年生で行われる予定です。ノーテレビ・ノーゲーム・ノーメディア週間以外でも、本を読む時間を増やしましょう。なお、11月は、本校の読書月間（11/1～11/30）です。



1年1組



1年2組



2年1組



2年2組



6年1組



6年2組



なかよし・ひまわり学級



【読書の魅力(効果)】

- 語彙力、文章力が養われる
- 教養や知識が身に付く
- 生活に役立つ知恵を得られる
- 想像力が豊かになる
- コミュニケーション能力が高まる
- ストレス解消になる

【お願い】

親子読書への取組をお願いします。

< 親子読書の取組内容 >

親子で同じ本を一緒に読む 親子で読書タイム 子どもが親に本を読んで聞かせる
 親が子どもに本を読んで聞かせる 親子でそれぞれ読んだ本の感想を話す
 いろいろな方法で親子読書に取り組み、家庭での読書をすすめ、月間内で取り組んだ感想をカードに書いて、随時提出してください。ご協力よろしくお願いします。

< その他読書月間の取組 >

- ・大型紙芝居読み聞かせ
ブックマ（図書ボランティア）による「福井震災」の紙芝居（5・6年対象）
- ・教員による読み聞かせ
国語の教科書で紹介されている本や、自分のおすすめの本などを使った読み聞かせ
- ・みんなで読書
手のひら文庫を利用した速読・熟読
- ・読書感想画
読書によって得た感動を絵画に表現

素直に謝らない子

叱り方1つで子どもが変わる！？

おもちゃの取り合いが原因で友だちを叩いてしまい、友だちを泣かせてしまった場合に、子どもが「ごめんなさい」と言えるようになる会話例

- 【NG】 親：「どうしてそんな乱暴するの。謝りなさい。」
 子：「だって……」
 親：「言い訳しないの。〇〇ちゃんに早く謝りなさい。」
- 【OK】 親：「どうしたの。〇〇ちゃんはなぜ泣いてるの。」
 子：「だって、私のおもちゃを取ろうとしたから……」
 親：「そうなんだね。気持ちはわかるなあ。でも叩いたら〇〇ちゃんは痛いよね。」

まずは子どもの言い分を聞いてあげましょう。（子どもにしっかりと説明させましょう。）子どもを注意をする時に、理由も聞かずに頭ごなしに叱ったり、叩いたりするのはよくありません。（叩かれて育てられた子は、暴力的な行動をすることが多く見られるようになります。）子どもの気持ちを認めてから、悪かった点（友だちを叩いたこと）を教えるのです。「親は、私の言い分を聞いてくれた」と思えるので、親に対する信頼感も高まります。

教育評論家の親野智可等先生は、イソップ寓話の「北風と太陽」のような対応が効果的だと語っています。つまり、頭ごなしに謝らせようとするのではなく、まず共感を示し、子ども自ら心を開く環境をつくるのが大事だということだそうです。